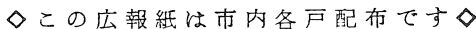
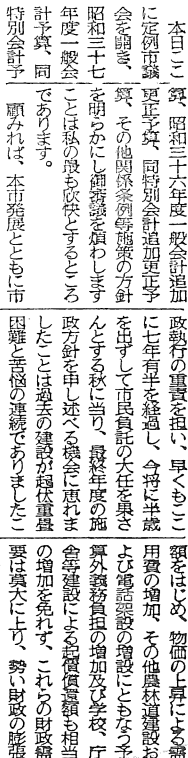


引越された時は
必ず
住民登録を



広報を
みんなが読んで
よい暮し

農業近代化をすすめる



定例市議会は三月十六日招集され会期を三月二十九日までと定め開会された。開会当日市長より昭和三十七年度施政方針演説がなされたのでその全文をお知らせす。年の施政が大都市百年の将来を決定することを思い市民各位の熟読を期待したい。

政執行の事を担ひ、早くも二に七年有半を経過し、今將半歳を出すして市民負担の年を果さんとすの秋に當り、最年長の施政方針を申し述べる機会に恵まれたことは過去の建設が団体重疊困難と苦悩の連続でありましたことを想起し、専た感慨無量なるものがあります。

すなわち本市建設費の過半は地價の地形的自然条件の初め、人口分布の状態や商業條件の多寡等、田園都市としての宿命的要素の制約のうちに、本建設費大の過半あつた膨大な赤の解消に成功し、漸く確立された健全財政の基盤の上に愈富な財源を最大限まで運用して約一億五千万圓を著実に実施し、輝かに建設事業を遂行し得ましたことは、議會の諸君方の御協力は勿論、市民各位の深い御理解と厚い御援助の下に、全副望と限らない情熱と意欲なく市政に傾注して参る事でござんしたものと存じ、皆様共に光榮かつ、御同慶幸極に堪ません。

学校給食の拡大『教育』

た、全身全霊を傾けて市民に奉仕し、以つて獻酬な信託にお応えしたい決意であります。

まず、市政方針を述べるとにあたり、昭和十七年度算編成方針並びに財政事情の改善を申し上げることが凡ての根柢をなす、適当と認めますので、願を込めて説明したいと存じます。

次教育について申し上げます。

一家の繁榮も地方の進歩も國家の興隆もその原動力は秀異な人材こそ不可欠の要素であり、教育の優先がいつの時代にあつても強調される所内であると存じます。

文部省においては、時代の推移に伴ひ、産業振興教育及び科学の発展に応じて、教育課程の一部改

本市の財政事情は御承知のとおり、昨夏以来職員の待遇改善に伴ひ昭和三十七年度に於ては、これら事務経費約三千八百万円の増大が決定されましたので本市においては昨年度木下技術教育に必要な教材の整備をいたしました。

農協合併をすゝめる

『産業経済』

りましたことは御同慶に堪えませ
ぬ。本市はすでに実施しつつある
これらの諸施策は、更に広げん
かつ重点的に生産の主産地化を軸
とする総合的組織設計画を樹立
し本年度以降一ケ年間に集中的な
事業の実施を図ると、なるので

つぎに産業経済施策について申
上げます。

本市の産業別業態は、オ一次産
品の占める比重が極端に大であり
として、生産額の標準において農
がその大半を占めてゐる事情で
、従つて、市産業の飛躍的発

流通合理化対策につきましては、流通機構の整備強化を図るため、共販機構整備補助金二十五万円を計上いたしました。

つきに農業協同組合の合併について申し上げます。

農協の合併につきましては、これが重要性に鑑み、さきに市内農協長及び関係機関と共に合併促進協議会を結成促進に努めつゝある

この方途を講ずるこの必要は、最近日本経済の著しい発展に、農産物と他産業の間に於ける生産性及び従業者生産水準の差が增大し、更に農産物の消費増進にも変化を生じ、また他産業の労働力の移動傾向が強まりつつある等、農業をめぐる経済的状況の情勢は益々きびしいものがあります。

このような事態に処して、農業の高度な生産性を確保し、農産物の向上を図るため、本市は以て農業経営の近代化への革新的な施策として、農事基本計画

ありますが、計画としては三ヶ年間の事業総量を約一億円として基幹項目及び決定的事業は今後更に指示を受け決定することにありますが、見做しとしては、酪農、米作、養蚕、果樹、蔬菜等を主軸とする産地形成を推進する計画で、初年度として昭和三十七年度の補助事業費は七千万円でその二分の一に對する補助金として三千五百円に及び事務費を計上いたしました。つきに実施の概要について申し上げます。

畜産対策における酪農は、近時農産物消費増進に伴う変化の中にあつて最も需要の高いものとして注目されており、本市においては昭

処があります。申すまでもなく、丹麥糖漬菓事業の推進および實體制の推進は、農協の強固な整備、施設、必須の前提條件であり、幸い本市は既に農協台所と密切り熱意を結ぶその実現を期すところあるを認められ、今回の農協構造改善地域に指定せられた実情に鑑み、農協合併は極めて緊急不可欠の課題であり、これを緊急促進する。図ため十万円を計上いたしました。なお農協経営協働化については、構造改善事業における助成事業として強力に推進する計であり、りますが、更にこれを促進するため、経費十五万円を計上いたします。

地改良及び林道の開発、財政力 大半を投入してまいりましたが、 今その業績は期待を速かに超 へ、本市発展の原動力として面目 一新しつつあります。そこは、真 実さはいし限りであります。	園においては、昨秋公布された 本市で四十年に亘つて全国の農地地域にお ける農業構造改革事業実施に 本格的な農業生産構造近代化を 推進することになりましたが、本 市は、その特殊事情を充分の御理 により本県内における一般地域 指定三十三地区の内、一市指定をう けて、しかも本年度より事業実施市 として認められ、本以てける該 業の先駆的役割を果たすことにな	和三十年度より重点的な振興対 策を講じた結果、現在における飼 育頭数はこの計画より、一 四〇頭となっております。	肉牛 飼育頭数促進策としては、肉牛 のおびやかなる促進策としては、肉牛 繁殖牛共同飼育補助金三千万円、 優良母豚共同購入補助金二千万円
六〇頭、日産乳量一四〇石を自 標に諸牧の集行つ計画でありま す。なお、前年に引続き、専入 子補給金四万十万円、自給飼料 対策として乳粉カッター設置補助 金二十万円、更に多頭飼育を促進 するため、新・畜舎改善補助金五 十万円を計上いたしました。	その他畜産政策としては、肉牛 のおびやかなる促進策としては、肉牛 繁殖牛共同飼育補助金三千万円、 優良母豚共同購入補助金二千万円	肉牛 飼育頭数促進策としては、肉牛 のおびやかなる促進策としては、肉牛 繁殖牛共同飼育補助金三千万円、 優良母豚共同購入補助金二千万円	肉牛 飼育頭数促進策としては、肉牛 のおびやかなる促進策としては、肉牛 繁殖牛共同飼育補助金三千万円、 優良母豚共同購入補助金二千万円

かけかえ

【土木】

次に土木費について申し上げます。

産業経済文化の発展は交通運輸の如いにかかつていふ申しても過言でないと思存します。道路維持修繕は財政乏しい中にも創意と努力を盡したつてありますが、その足らぬ処は市が財政の一部を補助し、道路の愛護、市民の理解と協力の協力を得つてあります。

本年度は特に多額の懸案でありました矢洲地区八尾駅、八幡宮地区松元、平岡地区の改修を行う事と、更に木橋中老賀橋、石川の二つにはすでに保有する鉄材を借用し永く錆に架装を行つたため所定の経費を計上しました。

(註)この行政事例により、市長の管理する財産中、現金、
二四(条)の規定による格差の対応にならない(昭和二五、七、十七、自行政第二四号)
②項以下省略
尚監査委員の検査と監査、或は財産の鑑査、管理権限異等につき論及してありますが今日
はそれで終了です。
大洲市監査委員